

平成21年度 幼稚園関係者評価〔保護者〕自由意見

- 1 保護者会、園だより、ビオトープだよりを通して、教育方針を分かりやすく伝えている。
 - 伝わってきます。
 - 園だよりの寄稿は毎回なるほどと思いながら熟読させていただいています。保護者会でも、どんな質問にも真剣に答えてくださるので、不安をもつことなく過ごさせています。
 - 季節の移り変わりや園庭の様子がとてもわかりやすい。
 - 子どもらしさ、自由さ、その中での遊びを通しての学びを大切にしているのが分かる。
 - 幼小期の土台作りとしては、大切なことを学ばせてもらっているように思う。
 - 保護者会、園だよりにより、昌平幼稚園の教育方針が、適切に保護者に伝わっていると思います。
 - 保護者会の園長先生のお話を聞き、気づかされることが多くあります。たくさん先生のお話を聞きたいと思います。
 - 特にビオトープだよりは写真が沢山載っていて、一目瞭然です。楽しみです。
 - 保護者会や園だよりを通して先生方の熱心さや指導方針が伝わり、いつも勉強になります。
 - 日頃の子どもの様子や、今月の目標など、分かり易く説明されているため。
 - 毎回いただくお便りは、普段の園生活を見る機会のない家族も楽しむことができ、親子のスキンシップにも、とても役立っています。
 - 子どもたちの自主性が伸び続けることを強く望む。(B)
 - 園だよりは、現在1日付けでいただいておりますが、前月末にはしてはいただけませんかでしょうか。(B)
 - 園の様子はよく分かるが、教育目標に焦点をあてているかどうかは、見えてこない。(B)
- 2 稲作や、さまざまな自然体験を通して、生命を大切に自然を愛する心などを育てることは、よい方針だと思う。
 - いつも見学が多い3歳児だったので、来年の3歳児のためにチューリップを育てていることが、とても嬉しそうです。
 - 子どもがさりげなく話してくれた「かえるさんは雨の日に出てくるんだよ」という一言が、自然を身体で感じて学んでいるなあと印象に残っています。
 - 育てる、収穫するなど四季も感じられる、土のある園庭であることはよいと思います。
 - 都心に在りながら、稲を始め、様々な植物の生長を感じられる環境は、本当に恵まれていると思います。
 - 毎日の生活の中で、自然が近くにあり、とてもよいと思う。
 - 通常では考えられない貴重な体験をさせてもらっていると思う。自然と触れあい、四季を感じる大切な場であると思う。
 - 稲作、芋掘り、様々な体験をすることで、子どもが昌平の野菜を、とても大好きということが伝わってきます。
 - 稲やいろいろな食べ物、草花をさわる機会があって、よい経験になります。
 - 園庭での活動で、子どもが野菜などの全体図(根や葉など)、果実の育成の様子をとてもよく観察していることに驚かされます。都心では、なかなかできないことで、有難いです。
 - 身近な場所で自然とふれあう場が少ないため、毎日の園生活において自然にふれ、四季を感じる場があることに、とてもよい環境だと思います。
- 3 遊びを中心とした体験を通して子どもに豊かな学びを促す指導の工夫をしている。
 - 今はよく理解できないと思いますが、卒園する頃にはどれくらいの豊かな心をもった子どもになっているのか非常に楽しみです。
 - 遊びの中から工夫を見出したり、「勉強」「学習」強調したりしすぎていないこともよいと思う。
 - 幼稚園に私が入って感じることは、とても子どもたちがのびのび大好きな遊びをしているということです。また、子どもクラブでは、最近、異学年とかかわることで、年長さんへの憧れ、年少さんへは優しくが少しずつですが、身に付いてきていると思います。
 - 外遊びを極力増やして頂くと有難いです。(A)

- 4 子どもが、発達段階に応じた基本的な生活習慣を身に付けることができるように保護者と連携しながら指導にあたっている。
- その子にあった声かけをして、様子をよく伝えてくれていると思います。
 - 個々の生活習慣は家庭で行うものと考えているので、幼稚園でも指導して頂けるのは大変ありがたいと感じます。
 - 子どもの段階に応じた指導は適切にさせていただき、安心して通園させていただいています。
 - 「発達段階に応じた」の定義が把握できていないので、自分の子どもの成長度合いがよく分からない。(B)
 - 子どもの年齢に応じた基本的な生活習慣自体をもう少し明確だと、理解しやすく、先生にも相談しやすいです。(C)
 - 少人数の園児しかいないということで、基本的な生活習慣が、ややマイペースな気がするため。(B)
 - 欲をいえば、もう一歩進んだ、子どもを引き上げる向上に向けた指導があればいいと思います。(B)
- 5 教師は、子どもをよく理解し、一人一人を大切にされた指導を心がけている。
- とても理解してくれていると思います。
 - 細やかな目配りをしていただいている。特性に合わせた指導であると感じる。
 - 何度かの面談で、子どもに対する対応を聞き、よく子どもを見ているなど感じました。
 - 本人のキャラを理解していただいて、嬉しいです。
- 6 幼稚園では、保護者や地域の人々との連携を密接にし、教育活動を充実させている。
- 祖父母が近くにいない私たちのような家庭には、地域の方々との接触がとても貴重で、子どもにもよい機会を与えていただいていると思っています。また、様々な行事で、地域の方々と親しくなることで、安全面でも常々注意していただけるので、ぜひ引き続き、協力を得られる体制をお願いします。
 - 密な地域性をうまく生かしていると思われる。
 - 保護者も適度に行事に参加し、とてもバランスがとれていると思います。
 - おかげで、地域の方々が、自分の子どもや孫のように気にかけてくれている実感があります。(登降園に声をかけてくれたり、園の辺りで犬の散歩をしてくれたり等)
- 7 参観・懇談会や様々な行事は、子どもの様子や育ちがよく分かり、幼稚園教育の意義を知る機会となっている。
- 普段見ることのできない子どもの姿を近くで見られるよい機会である。
 - 参観、懇談会、その他の行事の参加で、子どもの様子など、様々なことを知れていると思っています。
 - 家では見られない成長を実感できる機会は、大切だと思います。
 - 親の参加の機会が昨年度より、適切だと思います。重点を絞って親も手伝いや、園との関係をもつべきだと思います。
 - 行事が多すぎる気がします。(B)
- 8 稲作やトライ&チャレンジ、収穫祭などに保護者が一緒に参加することは、幼児の豊かな体験を実感できる機会となっている。
- 保護者は収穫祭で、料理の手伝いや一緒に食べることで、子どもの楽しさも倍増している気がします。
 - トライ&チャレンジは、保護者と一緒でなくて、かまわないと感じます。基本的に幼稚園児をもつ家庭は(保育園の子と比べても)ずっとひと時も離れず、母子が一緒に過ごしています。園にいる間は親と離れて、親の知らない世界を持つのも成長のよいステップになると考えています。
 - 親子の体験は貴重だと思う反面、都度、下の子をどうするか手配が必要なことがネックと感じることもある。(B)
 - 本年度はトライ&チャレンジに、子どものみの参加でしたので、驚きました。何か理由があったのでしょうか？
- 9 幼稚園は子どもの育ちや子育ての悩みなどについて、適切に対応してくれる。
- カウンセラーの方の配置だけでなく、先生方からもアドバイスを受けられる、相談しやすい空気感がある。

- 保護者が SOS を出せば、適切に対応してくれる気がします。
- 何かあればすぐに担当の先生に相談でき、適切なご指導をいただけるので、とても頼もしいです。

10 幼稚園は、個人情報情報を慎重に扱いながら教育活動を進めている。

- 年度初めなどに個人情報に関するもらうなど、慎重であると思います。

11 幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備され、子どもたちにとって安心して生活できる場となっている。

- 園の施設・設備はこれ以上、望むことはありません。
- 現状に甘んじることなく、限られたスペースをどう生かしていくか、日々検討されているように感じる。
- 幼稚園の施設に関しては、よく整備されていると思っています。
- お部屋の戸を開けておくとき、しっかりストッパーが必要だと思います。(B)
- 整備が万全なのと裏腹に、外気に触れ、日光を浴びた生活が少ないので、増やしてほしいです。

12 警察・消防署などと連携しながら、子どもが、安全に関する習慣を身につけられるよう指導している。

- 安全指導があったり、避難訓練が定期的に行われたりしている。
- 親から言われるのとは違い、警察・消防署などから、しっかり教えてもらったほうが、子どもたちもよく聞き入れると思います。
- 警察に関しては、何度か交通安全に関する指導を受けていると思いますが、消防署からはどのような指導を受けているかわかりません。私が覚えていないだけかも知れませんが。(B)
- その様子を見ていないので実感できない。帰宅しても、その話題は、特に印象的ではない様子。帰宅してから親子で「おさらい」ができる資料を(しまじろうのシール、問題集のような)警察で作成してくれると楽しく親子で学べると思う。(C)

☆ その他、本園の教育や教職員についてご希望やご意見がありましたら、お聞かせください。

- 来年度も、現在の先生方に見守られて園生活が送れたらと思います。産休・育休に入られる先生以外の職員体制の継続を強く望みます。
- 少人数ということもあるでしょうが、先生やスタッフの方々が、子ども一人一人をよく見てくださって、その子どもに合わせた対応をしてくださるので、子どもが伸び伸びとおおらかに成長しているように感じます。その中でも、挨拶や言葉遣い等は、しっかりと指導いただいているようで、たまに親の方が注意されるくらいです。私の希望として園児のうちは、特に流行言葉や聞き苦しい言葉は話させたくないの、私自身も注意したいと思いますが、もしお気づきの時は、ご指導をお願いしたいと思います。
- 担任の先生とは連携もうまくとれて、不備がある時などは、はっきり伝えてくださったり、ご自分で判断のつかない事は、きちんと確認をとってからお答えしていただき助かりました。子どもにも親にとっても、安心感のもてる対応をいただいていると思います。
- 去年より集まりが減って、楽になりました。
- 園内行事では四季を感じる昔ながらの日本行事(月見、ひな祭り、こどもの日など)を節目節目に会を開いてくれて、とても子どもも喜んでます。ありがとうございます。
- 公立幼稚園なのに、非常にいろいろなことにチャレンジする機会があり、また、先生方も親身に接してくださっていて、ありがたいと思っております。
- 毎日、通うたびに何か吸収して、成長しているのがわかります。
- 稲作やトライ&チャレンジ、収穫祭など保護者も一緒に参加する行事の時には、もう少し3歳児の子どもたちも一緒にかかわれる場があってもよかったのではと思いました。
- 保護者は参加できる行事も限られているので、話だけではなく目で見てもわかるように、写真などの掲示をお願いしたいです。(遠足、焼き芋パーティー など)
- 2学期の行事は非常に立て込んでいて、親側としても、正直大変でした。小学校と一緒にの行事は無理と感じる部分もあり、来年度の行事が見直されるとのことなので期待したいと思います。
- 昌平幼稚園は人数が少ないので、学芸会など小学生の前で発表する機会は、大勢の前で発表する

い機会と思っていたので、見学のみだと少し残念だと思います。(行事が多くても、小学生になれば、それを乗り越えていかなければいけないと思うので…) 仲良くすることはもちろんですが、お友達の中で、強く、逞しい子になってほしいなと思います。

- トライ&チャレンジは、今年は保護者の参加が少なかったかなと思いました。
- 一つの学年が少ないので、他園や保育園の子どもとの交流などがあるといいなと思いました。以前は(3年前位)7月に「縁日ごっこ」があったのですが、またそういう行事があったら、楽しいなと思います。
- 幼小合同運動会は、必要なかどうか。自分が意義があまり理解できていないので…。
- 13時30分の降園時間はとても早いと思います。園庭降園にして、親がきちんと見ている中、園庭で14時30分位まで遊ばせて頂けるといいなと思います。
- 父の日や敬老の日、勤労感謝の日など、日頃の思いを表すことも、1年の子どものサイクルの中に組み込んでほしいです。(一般的に、父の日、母の日などは、1人親の子どもに配慮して、取りやめるということも聞きますが、日頃、自分のお世話をしてくれている身近な大人が、例え父母ではなくても、父役・母役両方してくれているのは、大きな感謝につながられるように、逆に子どもが思えるような教育の方法もありだと思えます。同じように、祖父・祖母がいなくても、隣のおじいちゃんや、いつも声をかけてくれるおばあちゃん存在に気づくよい機会だと思います)
- 行事が多いと思います。幼小合同運動会は、幼稚園運動会があるので、参加しなくてもよいのではないのでしょうか。幼小のなめらかなつながりは、幼児・児童の目線から見ればもっと個々のふれ合いを増やしていくことで、深まっていく気がします。実際は児童館で、よく交流している姿を見ます。幼小の行事を合同にしたり、PTA行事を一緒にすることも1つに形だとは思いますが、乳幼児を抱える家庭は、まだまだ家庭での子育てが生活の中心ですので、無理して小学校の活動に合わせようとすると、幼稚園生活が窮屈に感じられる心配があります。(かつて私自身が感じたことです)小学生が幼稚園に遊びに来たり、幼稚園児が小学校に遊びに行く機会を多く作ってみるのも面白いかなと思います。
- 願わくは、もう少しアスレチックや探検のような、冒険的なワクワクするような体験をもっとさせてあげられたらなと思います。周辺環境的に無理があると思いますが。
- せっかくある地下のプールをもっと活用してほしい気がします。体がもっと鍛えられるので。
- 子どもが幼稚園での13時30分までの遊びだけでは足りないようです。本来、親の都合で子どもを延長して預かってもらう制度が、子どもクラブですが、親の都合が何もなくても子どもをもっと遊ばせるために、子どもクラブを活用することがほとんどです。昨年度までは、15時まで無料で気軽に預けられたことがとてもよかったのに…と思っています。
- ☆ 発達段階に応じた基本的生活習慣の意味合いや定義とされる具体的な内容を知りたい。(例えば、お弁当袋の紐をいつ頃から結ぶことができるように指導するとか、袋でなく布に包んで結ぶ他、目標があったりするものなのか?そういった行動は幼稚園では必要ないものなのか?)
- ☆ 自由に遊ぶ喜びを感じる反面、小学校に進級するまでに、どこまでの行動が必要とされるのかよく分からず、不安を感じることもある。(あくまでも細かい動作一つ一つが、家庭での指導であるのであれば、少しでも家庭内で取り組んでいく必要もあると思っているため。)
- ☆ お弁当の時間の様子を1回も見ることがないので、こっそり見てみたいです。
- ☆ 幼稚園のホームページについてのことが、あまりよくわかりません。我が家にパソコンがないのが、問題なのですが…。
- ☆ 雨の日以外は、1日1回でも庭に出て過ごせるとありがたいです。本当は家庭でもっと外遊びに連れ出してあげなければいけないのですが、今の時代、今の環境では限界があるのが実情です。どんどん服が汚れるような遊びをさせていただければ大変嬉しいです。
- ☆ 子どもが年中組の時から、私も専門的な勉強のため、通学することとなり、通常より少し早い登園を受け入れてくださり、本当に助かりました。PTAのお手伝いなども日中、身動きがとれないので、保育園へ転出しようと思いましたが、「後一年間、子どもの成長と一緒に見守らせてほしい」との先生の言葉に、ますます甘え、残すところあと4ヶ月の幼稚園生活になりました。我が家のように、個別に対応してくださり、いつも暖かく見守ってくれたこと心より感謝します。ありがとうございます。
- ☆ 年長組として、園での生活に意欲・充実が日ごと増していく感じが感じ取れた1学期。夏休みを終え、「早く幼稚園に行きたい」気持ちでスタートした2学期ですが、運動会の練習が始まり、園での生活、遊び等、リズムがはかれないうちに学芸会の練習に入り、日に日に子どもの顔が暗くなり、朝の支度など、牛歩術で気持ちを体現する等、先生たちに子どもの様子を伝え、園でと家庭でのフォローでなんとか乗り越えることができました。上の子の園生活に続き、家庭で私どもはこの2学期について話

し合うのですが、園での生活は継続した園生活・遊びのリズムが守られて、充実感を得て、年長の大
切なこの時期を過ごすことが小学校への接続に大きな役割を果たすのでは…と考えております。踏ま
えて負担のない形で、小学校行事に参加できればと思います。